

八学大「リカレント教育推進事業」



学び直しを支援する講座の内容について話し合う委員

失業者らの学び直し支援

開設へ検討委初会合

失業者や転職希望者らに向け、大学が就職に必要な知識を身に付けるためのプログラムを開設し、学び直しを支援する文部科学省の委託事業「就職・転職支援のための大学リカレント教育推進事業」に北海道・東北地方で

唯一、八戸学院大(水野眞佐夫学長)が採択された。20日、YSアリーナ八戸で同大や自治体、地元企業など17団体で構成する検討委員会初の初会合が行われ、委員ら約20人が有意義な授業に向けて意見を交わした。

同大は、同事業の採択を受けて「自分アップデート!社会福祉プログラム」「若者・女性活躍推進!リスタート支援プログラム」の2講座を開設予定。社会福祉では介護業界の人材不足解消、リスタート支援では結婚や出産などで労働市場を離れた女性を対象とした授業を行う。

会合では、授業内容やスケジュールなどについて議論が交わされ、委員からは「介護を体験する機会が欲しい」「女性が参加しやすい日程設定が重要だ」などの意見が出された。

受講生は、9月にも募集開始予定。同大ホームページなどで情報提供する。

(金濱千優希)